看護あきた

Nursing Akita

Vol.108
平成24年度 1号
公益社団法人秋田県看護協会会報
訂 正 版

会長あいさつ
平成24年度 秋田県看護協会
通常総会・特別講演リポート
平成24年度 新理事・監事紹介
平成24年度 理事・監事・地区支部長
常任・特別委員一覧
「看護の日」事業報告
シリーズ看護部長が看護の思いを語る
シリーズ認定看護師 こまち紹介
地域看護
事務局からのお知らせ

「看護の日」
事業報告

平成24年度会員数(7月3日現在) 6,732名

保健師 269名　助産師 311名　看護師 5,859名　准看護師 293名

看護あきた
Nursing Akita
Vol.108　平成24年度 1号

表紙／看護の日フェア

目次
Contents

1　公益社団法人秋田県看護協会
平成 24 年度　総会を終えて　秋田県看護協会 会長　烏 トキヱ

2
平成 24 年度　秋田県看護協会
通常総会報告

4　平成 24 年度 新理事・監事紹介
7　平成 24 年度 理事・監事・地区支部長
常任・特別委員一覧

8　「看護の日」事業報告

10　シリーズ
看護部長が
看護の思いを語る

11　シリーズ認定看護師
わたしのまちの看護師さん
「こまち」紹介

12　地域看護

13　会員から協会へなんでもメッセージ
14　事務局からのお知らせ

公益社団法人秋田県看護協会 平成24年度　総会を終えて

秋田県看護協会　烏　トキヱ

新緑の美しい季節となりました。皆様には、新年度の目標に向かってお忙しい中にも活気に満ちた毎日をお過ごしのことと存じます。

はじめに、6月13日、平成24年度の秋田県看護協会通常総会が開催され、提出議案の審議・決定と報告事項の承認をいただき、無事終了しました。本年度の総会は、公益社団法人移行後の記念すべき初年度の総会でした。新定款・定款細則に基づく総会運営では戸惑いも見られましたが、皆様のご協力により予定通り進み、議長並びに出席者の皆様に御礼申し上げます。

公益社団法人移行について、秋田県看護協会では、平成21年度から準備を進め、平成22年度総会では、理念と組織の骨子を、平成23年度総会では定款・定款細則をご承認いただきました。23年9月には、秋田県に申請書類を提出し、24年3月知事の認定を受け、4月1日に移行登記を完了、社会的信頼性の高い公益社団法人として、新たなスタートを切りました。

看護協会の公益社団法人移行については、会員はもとより県民や市民、各関係団体とも、大きな関心を寄せていることと思います。今後は、さらに公益社団法人日本看護協会との連携を深め、理念として掲げた、専門性に基づく看護の質の向上、働き続けられる職場環境づくり、人々のニーズに応える看護領域の開発・展開に基づき、より一層公益性のある事業に取り組んでいくことが必要になります。特別講演では、日本看護協会の坂本会長から、看護職の目ざすべき方向性が明示され、新たなスタートを切る当協会会員に大きな示唆を与えていただきました。

さて、会員の皆様のご協力により平成23年度事業は、順調に推移し成果を上げることができました。東日本大震災では、義援金による支援や、40名の災害支援ナース派遣、災害支援ナース報告会を開催しました。また、秋田県からの多様な勤務形態導入支援事業を受託し、秋田県医師会・秋田県病院協会様のご後援を得て、ワーク・ライフ・バランスに関する研修会を県内3か所で開催し、病院長や事務局長、看護管理者などの理解にも繋がりました。これらの事業は、労働局主催の「看護師等の『雇用の質』の向上」を目指した研修会と併せて、離職防止や働き続けられるための環境整備の大きな切り口となるもので、今後も継続して参ります。

本年度は、公益社団法人として、県内全ての看護職を視野に入れた生涯学習体系の枠組を教育会議で策定します。また、介護福祉施設及び訪問看護事業所で働く看護職の支援に力を入れて参ります。さらに、働き続けられる環境づくりのため、日本看護協会との協働によるWLBワークショップを開催します。

また、質の高い看護の提供・継続教育を推進するため、保健師・助産師・看護師の専門性を高める研修や事業を計画し、さらに、医療・看護の安全対策及び災害支援の推進、地域連携の推進・訪問看護の充実、県民の健康づくり・次世代育成支援に取り組んでまいります。東日本大震災につきましては、1年経過しましたが、被災地の復興が進まず、看護職も家族や働く場所を失い、厳しい環境、そして別の職場で働くことを余儀なくされている実態が分かりました。当看護協会では、今後とも長期的なスタンスで必要な支援を続けてまいります。

秋田県看護協会は、がん死亡率の上昇や少子高齢化が進む秋田県において、行政、関係団体の皆様との連携をさらに深め、病院・施設・在宅チーム医療の中で良質で専門的な看護を提供し、県民の保健・医療・福祉に貢献してまいります。

最後に、総会の翌日、坂本会長から「講演に行って良かった。生き生きとして、団結のある協会でした」とのお電話をいただきました。

この言葉を励みに、そして、諸先輩の努力とこれまで培ってこられた実績・英知をその時代に合わせて発展させ、次世代に受け継げるよう努力いたします。総会にご出席いただいた諸先輩には心より御礼申し上げます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

平成24年度

秋田県看護協会 通常総会

開催日時：平成24年6月13日　9:30～15:30

開催場所：秋田県総合保健センター　大会議室

公益社団法人に移行してはじめての総会は、出席363名・委任状5,376名、合計5,739名をもって開催された。

●プログラム

開会

総会開会宣言　物故会員への黙とう

会長挨拶

来賓祝辞　秋田県健康福祉部長　市川　講二氏

秋田市長代理　秋田市保健所次長　須藤　智明氏

秋田県医師会長　小山田　雍氏

来賓紹介　9名　名誉会員紹介　5名　祝電披露

秋田県看護協会会長表彰　受賞者：会員　110名

感謝状贈呈　2名　職員永年勤続　1名

受賞者あいさつ　代表：佐藤　祥子氏（平鹿総合病院）

議長団選出　菅原　久美子（北秋田市民病院）

三浦　洋子（秋田赤十字病院）

奥山　江利子（由利組合総合病院）

総会成立宣言：出席者344名、委任状5,006名、合計5,350名をもって総会成立

議事運営委員選出　議事録署名人選出

選挙管理委員・選挙立会人の任命　平成23年度総会議事録朗読

［報告事項］

1.公益社団法人移行認定報告

2.平成23年度理事会・常務会報告

3.平成23年度日本看護協会関係理事会報告

4.平成23年度事業報告

［報告事項1～4にたいして質疑応答：なし］

5.平成24年度秋田県看護協会重点事項並びに事業計画

6.平成24年度収支予算

●質疑応答

質問：総会運営方法について

「公益社団法人になったためか、今までと総会の運営が変わっている。新年度の事業も予算もすべて提出議題ではなく、報告事項になったのか教えてほしい？」

回答（烏会長）：「公益社団法人に移行し、定款により理事会の権限が強くなり、前年度の事業報告、新年度の事業計画及び予算は理事会で承認を得て通常総会に報告することになった。ただし、前年度の決算は理事会で承認後、議案として通常総会で承認を得ることになっている。」

●報告事項承認

10時30分現在の出席会員数　363名、委任状　5,376名、合計5,739名　報告

［提出議題審議］

第１号議案　平成２３年度決算（案）について

第２号議案　平成２４年度改選役員及び推薦委員の選出（案）について

※審議では意見・質問なく、賛成多数で可決された。

最初に選任の手続きについて選挙管理委員より「公示は５カ月前におこなわれている事と、立候補者及び推薦委員候補を１カ月前に公示しなければならないと定められている。今年度の役員立候補者の公示は平成２４年５月１日付で理事１４名、監事２名、推薦人２名を公示した。」ことが説明され、事務局長より選挙管理規定に関する補足説明が行われた。その後選挙方法について審議され投票ではなく挙手により採決することが承認された。

第３号議案　平成２５年度日本看護協会通常総会代議員および予備代議員の選出（案）について

第４号議案　会長候補者の選任について

※一人ずつ挙手による採決が行われ、全員が選任された

議長団解任

公益社団法人移行記念　＜特別講演＞

「看護界をめぐる最近の動きと今後の方向性」

講師：公益社団法人日本看護協会
　　会長　坂本　すが氏

特別講演の講師は日本看護協会長として2年目を迎えられた坂本すが会長です。会長は凛としたお姿で、たくさんの情報をわかりやすく解説しながらお話ししていただき、参加者は皆熱心に耳を傾けておりました。

内容：「看護協会は、これから国民のニーズに応える組織として注目されている。看護協会は公益社団法人になり、今までは会員のためのものであったが、これからは国民のニーズに応える組織として働く。国民の健康と幸福のために、そして看護職が将来ビジョンをもち、夢をもって元気に働いていくために活動することである。」と公益法人化に伴う新たな看護協会の役割について述べられた。

「2,025年には今より約60万人看護職が必要と言われている。少ないマンパワーで国民のニーズに応えるためには、働きつづけられるための環境づくりと、それぞれの職種が専門性を高められるチーム医療で、高齢多死社会・少子社会に対応していかなければならない。」

日本看護協会7つの重点事項2点目の看護師特定能力認証制度の法制化推進についても詳しく話された。在宅医療・介護の推進では複合型サービスとそのメリットなどについても触れられた。看護の将来ビジョンでは、「これからの看護の在り方として、一つの施設で取り込むのではなく、全体をみわたせる看護師を、どのように育成していくか。他職種と手をつなぎ、チームで働くということ。国民の暮らしと医療を支えるにはどうしたらいいか、そのために学習の継続と、多様な働き方を考える必要がある。」と述べられた。

これからの社会・国・世界の動向を見据えたうえで、看護職の将来について力強く示され、感動した時間でした。ありがとうございました。

（文責：広報出版委員　中屋　郁）

平成24年度

新 理事 監事 紹介

会長

秋田県看護協会
烏 トキヱ

公益社団法人移行後の会長に就任し、意識を新たにしているところです。この2年間、当協会が公益性のある職能団体として役割を果たし成長発展できることと、諸先輩の英知を次世代に受け継げるよう努力いたします。

副会長

秋田市
佐藤 ヨシ

副会長として3期目の任を引き受けることになりました。
2期目に担当した「看護研究支援事業」は24年度も５件の研究計画書の応募があり事業として軌道に乗り安堵しています。協会役員として地域の活動に参加して感じることは、秋田県看護協会が他団体から高く評価されていることです。公益法人を認可された組織として今後ますます地域に密着した活動が望まれます。そのためにもまず会員が協会に帰属していることを誇りに思える組織づくりに最後の任期を全うしたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

常務理事

秋田県看護協会
福田 幸子

2年前会計理事の役割を終える時、また何か自分にできることが有れば協力をしたいと申しました。しかし今回のような重責を担わなければならない役割は予想しておりませんでした。これからは、秋田県看護協会と看護職の役割発揮のために微力ながら尽力してまいりますので、皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

会計理事

介護老人保健施設　遊心苑
石黒 博子

この度会計理事を務めさせて頂きます。公益法人として、協会は益々地域から期待されるものと考えますので、事業がスムーズに行われるよう、会計の立場から尽力したいと思います。皆様のご指導やご協力よろしくお願い致します。

教育理事

秋田県看護協会
工藤 一子

この度、教育理事を務めさせていただくことになりました。

公益社団法人へ移行した意義ある今期の課題は、日本看護協会と連動した継続教育の体系化の再構築があります。秋田県の看護職者の生涯教育のより一層の充実に向けて微力ながら尽力いたします。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

看護師職能理事

秋田市
守屋 陽子

この度、秋田県看護師職能委員長を務めさせて頂くことになりました。これまで大学病院でしか働いたことがありませんが、研修会などを通し多くの施設の方と交流を結ばせて頂きました。まずはそこから輪を広げ現場の声を反映した活動ができればと思っています。まだ右も左もわからない状況ですが、どうぞ宜しくお願い致します。

北秋田地区理事

北秋田市民病院
中嶋 美枝子

震災の後「行為の意味」という詩がテレビで放映されていました。＜心は見えない＞でも＜心づかいは見える＞という内容でしたね。私達の看護の心も＜心づかいの見える看護＞に、多くの方々がご理解頂けるよう、県と地区支部のパイプ役として協会活動を頑張っていきたいと思っています。

能代・山本地区理事

能代山本医師会病院
工藤 あつ子

この度、能代山本地区理事を務めさせていただくことになりました。

理事の役割と責務を果たすことができるかどうか不安ではありますが、皆さまのご指導・ご協力をいただきながら協会本部と地区支部との連携を図り協会活動の向上に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

秋田臨海地区理事

中通総合病院
大石 静香

この度、秋田臨海地区理事を務めさせていただくことになりました。地区支部長として２年目になります。各事業において、地区の会員の皆様には多大なご協力をいただき大変感謝しています。公益社団法人となり、協会へ期待される役割もますます大きくなると思います。今後も皆様の力をお借りしながら、理事の任務を果たしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

由利本荘・にかほ地区理事

佐藤病院
佐々木 美恵子

この度由利本荘・にかほ地区理事として務めさせて頂くことになりました。

地区理事としての大役が重責となり、とても不安に感じていますが、皆様の協力そして指導のもと自分ができる役割を果たすよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

大仙・仙北地区理事

仙北組合総合病院
北村 美恵子

今年度より理事を務めさせていただきます。

看護職が専門職として力を発揮し、誇りを持って働き続け、また、地域の皆様が安心・安全な医療を受けられますよう努力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

横手地区理事

平鹿総合病院
小西 美喜子

看護職を続けて30有余年、共に働く仲間と看護協会からパワーをいただき、やりがいを感じながら続けてくることが出来ました。理事の果たす役割は重要になりますが、協会と会員のパイプ役になれるよう頑張ります。

湯沢・雄勝地区理事

雄勝中央病院
伊藤 美枝子

この度、湯沢雄勝地区支部理事・支部長として任務を担当させていただくことになりました。平成18年、19年度に地区理事として、責務を担当させていただきましたが、このたび公益法人となり、具体的に分からないことが多くあり不安に思っております。諸先輩の方々や役員の方々のご指導のもとに、前向きに学ぶ姿勢を持って、地区支部との連携を図りながら、責務を果していきたいと思っております。どうぞ、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

准看護師理事

山本組合総合病院
檜森 さちこ

この度、理事を務めさせていただくことになりました。理事という大役は初めてのことです。諸先輩の御指導を仰ぎながら、果たすべき役割を精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

監事

秋田県社会福祉相談センター
井上　栄

諸先輩よりご指導いただき監事経験2年になります。

今年度から、公益社団法人として全国４番目にスタートした秋田県看護協会の新監事として任期4年を無事全うできるよう心新たに気を引きしめ頑張りたいと思います。

どうぞ宜しくお願いします。

監事

秋田県成人病医療センター
澤木 みわ子

今年度は、秋田県看護協会が公益社団法人への移行が認可された大きな節目の年となりました。県協会が会員及び地域住民に信頼される組織として事業が行われるよう、監事としての役割を果たすために努力していきたいと思います。

平成24年度 役員名簿

理事・監事

	役職名	氏名	職種	所属施設名
理事	会長	烏 トキエ	看	秋田県看護協会
	副会長	佐藤 ヨシ	助	在宅(秋田市)
	副会長	三浦 令子	保	在宅(由利本荘市)
	常務理事	福田 幸子	看	秋田県看護協会
	書記	佐藤 光子	看	在宅(秋田市)
	会計	石黒 博子	看	介護老人保健施設 遊心苑
	教育	工藤 一子	助	秋田県看護協会
	保健師職能	太田 敦子	保	潟上市天王保健センター
	助産師職能	荒川きよみ	助	秋田組合総合病院
	看護師職能	守屋 陽子	看	在宅(秋田市)
	鹿角	川又留以子	看	かづの厚生病院
	大館	菅原留美子	看	大館市立総合病院
	北秋田	中嶋美枝子	看	北秋田市民病院
	能代・山本	工藤あつ子	看	能代山本医師会病院
	秋田臨海	大石 静香	看	中通総合病院
	由利本荘・にかほ	佐々木美恵子	看	佐藤病院
	大仙・仙北	北村美恵子	看	仙北組合総合病院
	横手	小西美喜子	看	平鹿総合病院
	湯沢・雄勝	伊藤美枝子	看	雄勝中央病院
	准看護師	檜森さちこ	准	山本組合総合病院
監事		井上 栄	看	秋田県福祉相談センター
監事		澤木みわ子	看	秋田県成人病医療センター
監事		伊藤 安徳		株式会社秋田中央ビルディング

地区支部長

地区支部名	氏名	施設名
鹿角	戸舘 桂子	かづの厚生病院
大館	田村 チヱ子	秋田労災病院
北秋田	中嶋 美枝子	北秋田市民病院
能代・山本	工藤 あつ子	能代山本医師会病院
秋田臨海	大石 静香	社会医療法人 明和会 中通総合病院
由利本荘・にかほ	佐々木美恵子	佐藤病院
大仙・仙北	北村 美恵子	仙北組合総合病院
横手	小西 美喜子	平鹿総合病院
湯沢・雄勝	伊藤 美枝子	雄勝中央病院

推薦委員会

●印:委員長

委員名	職種	所属施設名
●難波 はつ子	看	秋田緑ヶ丘病院
丹 巻子	看	町立羽後病院
工藤 敬子	看	大館市立総合病院
池田 富美子	看	由利組合総合病院
伊藤 富貴子	看	仙北組合総合病院

常任・特別委員

●印:委員長

委員会名	委員名	職種	所属施設名
保健師職能委員会	●太田 敦子	保	潟上市天王保健センター
	高橋 久美子	保	秋田市保健所 保健予防課
	加賀美 忍	保	秋田組合総合病院
	工藤 聖子	保	秋田地域振興局福祉環境部
	熊澤 由美子	保	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
	正木 みえ子	保	由利本荘市本荘保健センター
助産師職能委員会	●荒川 きよみ	助	秋田組合総合病院
	山内 月子	助	大館市立総合病院
	工藤 佐智子	助	山本組合総合病院
	石垣 智子	助	市立秋田総合病院
	齋藤 久美子	助	中通総合病院
	鎌田 志保子	助	由利組合総合病院
看護師職能委員会	●守屋 陽子	看	秋田市
	大高 喜代美	看	秋田社会保険病院
	工藤 文子	看	秋田県立脳血管研究センター
	宮城 正子	看	秋田組合総合病院
	鈴木 美佳子	看	仙北組合総合病院
	桃井 多恵子	准	本荘第一病院
	高橋 美智	看	市立大森病院
	高橋 芳枝	看	特別養護老人ホーム真昼荘
	猪股 洋子	看	介護老人保健施設かみの里

●印:委員長

委員会名	委員名	職種	所属施設名
社会経済福祉委員会	●小野 寿美子	看	秋田大学医学部附属病院
	北嶋 洋子	看	北秋田市民病院
	野村 優子	看	山本組合総合病院
	武田 千恵美	看	中通総合病院
	石川 みゆき	看	本荘第一病院
教育研修委員会	●大髙 恵美	看	日本赤十字秋田看護大学
	石田 和子	看	大館市立総合病院
	伊藤 志保	看	秋田社会保険病院
	坂本 優子	保	秋田地域振興局福祉環境部
	佐々木ひとみ	看	秋田大学医学部附属病院
	岩下 真実	看	秋田赤十字病院
	門間 真由美	看	市立秋田総合病院
	佐々木美和子	看	秋田県立脳血管研究センター
	松岡 淳子	看	中通総合病院
	佐々木由美子	助	JA秋田厚生連医療従事者確保対策室
	小野 まゆみ	看	由利組合総合病院
	八嶋広美(残任任期)	看	仙北組合総合病院
	大塚 朱実	看	平鹿総合病院
	佐藤 弘子	助	「ひろっこ」母乳と育児の相談室
	佐藤 千賀子	保	秋田県立衛生看護学院
広報委員会	●佐々木 順子	看	山本組合総合病院
	西村 真智子	看	外旭川病院
	菊地 久美子	看	市立秋田総合病院
	佐藤 美紀	看	中通リハビリテーション病院
	藤田 直	看	大曲中通病院
	猿田 真紀子	看	秋田県立脳血管研究センター
	茂木 美和子	看	秋田県立脳血管研究センター
	千葉 亜矢子	看	市立角館総合病院
	進藤 智加子	看	秋田組合総合病院
	豊口 明子	看	大館市立扇田病院
	吉川 智子	看	平鹿総合病院
看護制度委員会	●佐々木 吉明	准	花園病院
	佐々木久美子	看	北秋田市民病院
	石井 広美	看	杉山病院
	赤川 恵理子	看	市立横手病院
	佐藤 祥子	看	平鹿総合病院
看護学会委員会	●嶋田 純子	看	山本組合総合病院
	渡邊 知子	看	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
	齊藤 清子	助	秋田県立衛生看護学院
	秋山 みどり	看	秋田大学医学部附属病院
	中川 理恵	看	秋田赤十字病院
	佐々木 由香	看	秋田市医師会立秋田看護学校
	冨野 江里子	看	外旭川病院
	佐藤 友子	看	雄勝中央病院
認定看護管理者教育運営委員会	●猿田 久仁子	看	秋田赤十字病院
	白川 秀子	看	秋田大学医学部附属病院
	佐々木理恵子	看	日本赤十字秋田看護大学
	佐藤 田鶴子	看	由利組合総合病院
	庄子 公子	看	市立秋田総合病院
	工藤 一子	助	秋田県看護協会
[特別委員会]災害看護委員会	●木嶋 しげ子	看	由利組合総合病院
	木村 志保子	看	かづの厚生病院
	越後谷 和美	看	秋田組合総合病院
	小坂 さおり	看	男鹿みなと市民病院
	熊谷 浩子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
[特別委員会]訪問看護推進委員会	●石川 セツ子	看	訪問看護ステーションあきた
	柴田 貴子	看	大館市立総合病院
	鎌田 さと子	看	秋田赤十字病院
	鎌田 百合子	看	中通訪問看護ステーション
	真崎 祥子	看	市立角館総合病院
	金 美穂子	看	ナースステーションふきのとう
[特別委員会]医療・看護安全委員会	●三浦 真由美	看	市立秋田総合病院
	森 睦子	看	能代山本医師会病院
	石井 直子	看	秋田赤十字病院
	石川 桂美	看	秋田緑ヶ丘病院
	田口 さつき	看	外旭川病院
	髙橋 美紀子	看	仙北組合総合病院
[特別委員会]ワーク・ライフ・バランス推進委員会	●福田 幸子	看	秋田県看護協会
	佐藤 照子	看	土崎病院
	難波 はつ子	看	秋田緑ヶ丘病院
	大須賀 滝子	看	本荘第一病院
	三浦 正彦		秋田県健康福祉部医務薬事課
	松橋 廣巳	看	秋田県看護協会
[特別委員会]日本看護学会成人看護Ⅱ学術集会準備委員会	●宮堀 真澄	看	日本赤十字秋田看護大学
	日景 美佳子	看	大館市立総合病院
	小松 順子	看	秋田大学医学部附属病院
	川口 亜希子	看	秋田県立脳血管研究センター
	三浦 有美	看	市立秋田総合病院
	佐藤 やよい	看	秋田組合総合病院
	山岡 ふき子	看	秋田赤十字病院
	佐々木 聖子	看	中通総合病院
	田口 美智子	保	秋田市保健所 保健予防課
	石川 知子	看	平鹿総合病院

看護の心をみんなの心に

秋田県民と集う

看護の日フェア 実施報告

2012 5.12(土)

[会場]秋田拠点センターアルヴェ1F
(きらめき広場)

Events

なんでも健康相談
10:15〜14:30
血圧・骨密度・体脂肪測定
薬・栄養・メタボリックシンドローム相談
口腔衛生・乳がん自己検診
お酒との付き合い方・女性の悩み相談

ちびっこナース撮影
10:15〜14:30

マッキーコーナー
(風船アート＆ジャグリング) 10:15〜13:30

家庭看護実演
11:30〜12:30

AED実演
1回目／11:00〜11:30　2回目／13:00〜13:30

善婆トークショー
13:45〜14:45頃(60分)

烏会長とスギッチ

ボクもワタシも
未来の看護師さん♡

今年も大勢のちびっ子達が
来てくれました！
秋田の宝、希望ですね❤

オープニングを飾った
マッキーさんの
ジャグリング。

子どもに大人気のマッキーさん。
今年もモテモテでした♡

「AEDコーナー」
いざ、という時のために。市民の方も真剣な様子で参加されました。

「家庭看護コーナー」
バランスボールを使った筋力トレーニングの実演が行われました。

「口腔衛生相談」3年目もご協力いただきました。
歯の大事さを改めて知ります。

開始前からにぎわう、「まちの保健室」

アルコールパッチテスト診断はいかがでしたでしょうか。

毎年、ご協力いただいている秋田県薬剤師コーナーです。
とても分かりやすく、親切に対応してくれました。

日精看さん相談コーナーです!
お酒との相性をみてもらいましょう

「栄養相談コーナー」
大盛況でした。食への関心が高まっているようです。

「善婆さんの独り芝居」
松ケンサンバのリズムで登場。小言がおもしろおかしく会場は笑いの渦に包まれ、このあと、「あかるく生きる」をテーマに講演していただきました。

シリーズ

看護部長が看護の思いを語る

患者さんの体温を感じ取れる看護師に

No.5

秋田大学医学部附属病院
看護部長

高島 幹子さん

組織について

当院は、昭和46年に県立中央病院を国に移管して、県内唯一の国立大学病院として開設されました。診療、教育、研究の三本柱のもと、高度な医療の提供と、地域医療の質向上に貢献することを使命とし40年余の歳月が経過しました。

看護に対する想い

大学病院設立当時、看護の道を志していた私は、大学病院で看護を学び、大学病院で看護を実践し、大学病院で看護部長になりました。その間、医療の現場は大きく変化しましたが、一貫していたのは、患者さんへ良い医療を提供するためには、看護の質を上げることが不可欠であるという想いでした。そして、私たち看護職がたゆまずに、知識と技術、そして心を磨くことで、患者さんに選んでもらえる病院になれるという信念でした。

教育体制の新たな取り組み

当院は、手厚い看護体制を目指して、平成20年度に7対1看護（入院基本料）を取得しました。それに伴い看護職員は急激に増え、新人看護職員の占める割合も高まりました。そこで看護の質を維持するため、新人および教育指導者への教育体制を再構築しました。その中の1つ、秋田大学医学部附属病院看護部OSCEを、ここでご紹介します。OSCEとは、Objective Structured Clinical Examination（客観的臨床能力試験）の略号で、平成23年度から新人看護職員を対象に行っています。

これまで、採血・点滴プライミング・静脈注射の技術演習後に、技術の習得状況は確認していませんでした。しかし、新人看護職員の看護実践能力を早期に確実なものにすることが喫緊の課題となり、習得レベルを客観的に評価することにしました。

看護部OSCEは、合否の判定に重きを置くものではありません。新人自身が学んだ技術の習得状況を確認し、自信をもって看護実践できることを目的としています。導入後、直接指導した看護師全員が、OSCE導入を推奨していました。これは、新人の習得レベルが向上しただけではなく、指導者自身が指導方法を共通認識したことで、指導に対する不安感が払拭され指導への自信につながったからでした。看護部OSCEは、技術演習の指導方法・評価方法標準化への効果的な取り組みとなり、看護の質の向上、安全・安心な医療の提供に寄与できると考えています。

伝えたいメッセージ

医療技術が進歩したことで、医療機器に囲まれた患者さんを看護する機会が、確実に増えています。ともすればデータだけを見て、患者さんを看ていないことはないでしょうか。手厚い看護体制が整えられつつある今こそ、患者さんの言葉に耳を傾け、患者さんの体温を感じ取れる看護師としての原点に立ち戻りましょう。

シリーズ 認定看護師

「こまち」紹介

毎回、看護の専門性をたゆみなく探求し続ける認定看護師さんを紹介します。

浪岡 恭子さん

こまち File No.19

大館市立総合病院
がん化学療法看護認定看護師

今取り組んでいること

当院は地域がん診療拠点病院に認定されています。私は外来化学療法室に勤務し、化学療法を受ける患者さんの点滴の投与の管理と副作用の観察、セルフケア指導と、患者さんに対する看護実践を主に行っています。

皆と一緒にがんばりたいと思っていること

化学療法に携わる一人一人の看護師が、抗がん剤を安全に取り扱い、患者さんのつらさを緩和し、患者さんの人生に向き合えるよう、化学療法看護の基盤を院内に作ることが、私の使命と感じています。化学療法に携わる看護師が活躍できるように、土台となって支えていかなければならないのですが、私自身の未熟さを痛感し、温かく見守って下さる上司やスタッフに感謝する日々を過ごしています。研修会を企画し、実践的なマニュアルを整備し、化学療法を受ける患者さんが「安心と満足」を感じていただけるよう、皆さんと共に歩んでいきたいと思います。

鈴木 美佐子さん

こまち File No.20

仙北組合総合病院　救急外来
救急看護認定看護師

今取り組んでいること

当院は、地域中核病院で24時間救急医療に対応しており、二次救急医療機関で病院群輪番制病院としての役割を果たしております。平成22年に救急看護認定看護師となった私は、主に救急車への対応と外来へ受診される患者様のトリアージを行っています。昨年度の年間救急受診者数は19,685件、そのうち救急車搬送数は3,033件でした。緊急度や重症度を見極めるためにトリアージを行う重要性を感じています。
当院では休祭日の時間帯に多数の患者様が受診されます。トリアージを行う事は、重症患者を見逃さずに適切な治療につなげていくことができると思います。そこで5月から専任看護師による「院内トリアージシステム」を導入しました。今後的確なトリアージを行っていくために、フィジカルアセスメントの研修会に加え、トリアージの研修会も定期的に開催して、看護の質の向上に努めていきたいと思います。

皆と一緒にがんばりたいと思っていること

トリアージの必要性を地域の方々に御理解を頂き、「院内トリアージシステム」が軌道にのる様にしていきたいと思います。そのためには、医師をはじめ看護師・事務職員一丸となって取り組んでいくことが必要と思います。始まったばかりのシステムですが、今後はトリアージの分析と評価を行ってフィードバックをしていきたいと考えております。

地域看護

地域を支え，つなぎあう
看護師の活動を紹介します。

前列右から2人目が佐藤さん

横手市「ひろっこ」母乳と育児の相談室

助産師　佐藤 弘子さん

「ここに、あったのですか。母乳育児専門の助産師さんをずっと探していました！」と、相談に訪れたママに、泣き崩れられた時にはビックリ！開業のきっかけは、看護協会事務局を退職予定の頃、当時の横手地区理事の保健師さんに「地域には、母乳育児の対応をしてくれる助産師がいない。開業しませんか。」とお話されたことです。私は東京で第一子を出産。実際に母乳育児をすると、さまざまな母乳育児方法があり育児ノイローゼ寸前。育児と並行して母乳育児方法・手技を学んだ後、秋田市で７年ほど母乳育児ケアに従事していました。そこで、最近の母乳育児支援方法を学び直して、出張開業届を提出しました。

相談内容は、「母乳で育てたい」「前回は、人工栄養で、今回は母乳で頑張りたい」「母乳分泌不足ではないか」という母乳確立方法や母乳育児の希望。「陥没や扁平乳頭で、児が吸いつけない」「乳首が切れて痛い」「一部が詰まって、乳房が腫れて痛い」「乳腺炎を繰り返す」という痛みや乳房トラブル。「児が、母乳を飲んでも眠ってくれない」「泣きやまない」という乳児の状態や育児への不安。「仕事に復帰後の母乳育児の方法がわからない」などです。そして意外に多いのが、「いつ卒乳したらいいのか。方法は？」「卒乳する勇気がない」と、卒乳の方法や対処です。

産後1ケ月以内は訪問をし、不安なことがあった場合はメールや電話で対応しています。「聴いてもらえる人がいる」という安心感は、しだいに親として自信を育む上で大切なことと感じています。臨床では、母乳育児を推進し、母乳外来を、行政の産後訪問・相談など、支援は充実しています。しかし、「母乳育児」は、卒乳するまで長期間で、乳児の心身の発達を含め、個々人さまざまな事情・状況があります。実母や姑との母乳育児に関して意見が対立している、幼い時の自分の受けた育児方法でトラウマになり、出産後表出され不穏状態のケースもいます。私は、カウンセリング・心理療法など学び、2012年NPO法人JSCWの認定スピリチュアルケアワーカーを取得しました。不安や悩みを抱える母子が、「この子を産んで、育てて幸せ」と実感する母乳育児、家族や母子関係のスピリチュアルケアを含めて、母子に寄り添ったケアを、臨床・行政などと連携しながら、微力ながら、実践していきたいと思っています。ケアを受け、笑顔になって帰っていく母子を見送る時、私もニッコリ！力をいただきます。

看護協会への

なんでもメッセージ

看護協会へのご意見・ご要望、看護あきたで取り上げてほしい話題・お知らせ等々、
なんでも結構です。ご自由に記入して、FAXで送信してください。

お名前　　病院・医院名

TEL　　FAX　　部署・部門名

社団法人 秋田県看護協会

FAX.018-835-9522

秋田県看護学会開催の案内

メインテーマ「看護職の可能性」

日時：平成24年11月9日（金）
場所：秋田県総合保健センター　大会議室
定員：300名
特別講演　日本赤十字秋田看護大学大学院
　　教授　夏原和美氏

看護研究の成果を共有し、明日からの看護に生かす貴重な機会です。
多くの皆さまの参加をお待ちしております。
申し込みの詳細は「平成24年度教育計画冊子」を参考にしてください。

INFORMATION
事務局からの連絡・報告

三職能合同交流会開催の変更

テーマ:「秋田県の地域連携を支える力」
日程:平成24年9月15日(土)9:30～15:30
会場:≪変更前≫　保健センター大会議室
　　≪変更後≫　秋田県看護センター5階第一研修室

※保・助・看・非会員の方も
ご参加ください。
「秋田県の地域連携について、
みんなで考えてみませんか」

平成24年度教育研修一覧表の会場の訂正について
「看護職員の多様な勤務形態導入研修」

日程:平成24年9月　8日(土)13:00～16:00
会場:≪記載≫平鹿総合病院
　　≪訂正≫山本組合総合病院

日程:平成24年9月29日(土)　9:30～12:30
会場:≪記載≫山本組合総合病院
　　≪訂正≫平鹿総合病院

第44回　日本看護学会―成人看護Ⅱ学術集会が秋田で開催されます!!

日時:平成25年10月3日(木)～4日(金)
場所:秋田県民会館, ジョイナス会館, 秋田ビューホテル
定員:1,600名

多数の論文のご応募と
多数のご参加を期待しています。

第44回　日本看護学会―成人看護Ⅱ学術集会準備委員会

広報委員会の紹介

今年度の広報出版委員です。皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。
どうぞよろしくお願いいたします。

[前列左から]
千　葉　亜矢子(市立角館総合病院)
進　藤　智加子(秋田組合総合病院)
吉　川　智　子(平鹿総合病院)
茂　木　美和子(県立脳血管研究センター)
佐々木　順　子(山本組合総合病院)委員長

[後列左から]
豊　口　明　子(大館市立扇田病院)
菊　地　久美子(市立秋田総合病院)
藤　田　　直(大曲中通病院)
佐　藤　美　紀(中通リハビリテーション病院)
猿　田　真紀子(県立脳血管研究センター)
西　村　真智子(外旭川病院)

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

編集後記

これまで"看護あきた"は、広報出版委員会が発刊してきましたが、今年度より看護の日委員会と統合し、新たに『広報委員会』として活動をスタートさせています。

メンバーも増え、より一層活発な意見やアイディアを出しあいながら、今まで以上に会員の皆様に喜んでいただける魅力あふれる"看護あきた"を目指していきますので、どうぞ宜しくお願いします。ご意見・ご感想もお待ちしています。

(記・猿田真紀子)

看護あきた Vol.108　平成24年度 1号

Nursing Akita

発　行　日／平成24年7月23日
発行責任者／公益社団法人 秋田県看護協会 会長
発　行　所／公益社団法人 秋田県看護協会　秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172
印　刷　所／秋田中央印刷(株)　秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577